

なんでもインフォ 2022. 12



発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～カーボンニュートラルについて～

●はじめに

2022 年も残りわずかとなりました。今年も、気候変動の影響による猛暑・寒波や大雨・干ばつなどの異常気象が世界各地にて発生しています。気候変動の要因とされる温室効果ガスの抑制対策として、“ カーボンニュートラル ”、脱炭素社会の実現を目指す動きが高まっています。今回は、このカーボンニュートラルについて紹介します。

●カーボンニュートラルとは

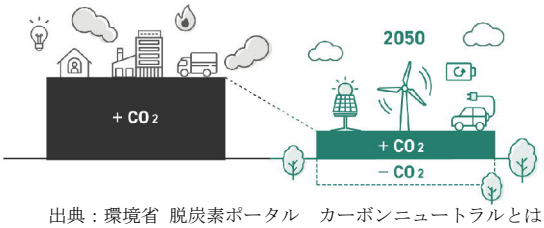
「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。2015 年のパリ協定（「国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）」採択）で世界共通の長期目標として、

> ▶ 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする。
> ▶ そのため、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21 世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる

引用：経済産業省 資源エネルギー庁 「いまさら聞けない「パリ協定」～何が決まったのか？私たちは何をすべきか？～」（2017.8.17）

等を合意し、2021 年 4 月現在、125 カ国・1 地域が「2050 年カーボンニュートラル」の目標を掲げています。

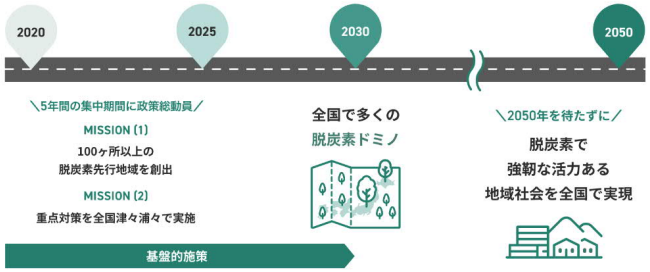
日本でも 2020 年 10 月に、政府が 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを宣言しました。「全体としてゼロ」というのは、温室効果ガス「排出量」から森林などの「吸収量」を差し引いた値がゼロになることをさしています。



出典：環境省 脱炭素ポータル　カーボンニュートラルとは

●地域脱炭素ロードマップ

カーボンニュートラルの実現に向けて、2021 年 6 月に、「地域脱炭素ロードマップ～地方からはじまる、次の時代への移行戦略～」と題した政策を決定しています。これは、2020 年からの 5 年間で、100 か所以上の脱炭素先行地域を創出し、重点対策を全国津々浦々で実施することで、「脱炭素ドミノ」により加速度的に伝搬させるという施策です。



出典：環境省 脱炭素ポータル　カーボンニュートラルとは

重点対策は 8 つあり、事業者のみならず、地域のすべての人が主体となって、脱炭素に向けて取り組むことがポイントとなってきます。

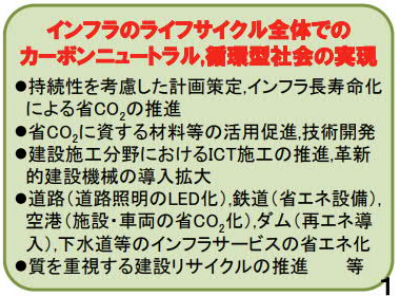
脱炭素の基盤となる８つの重点対策

1. 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電
2. 地域共生・地域裨益（ひえきがた）型再エネの立地
3. 公共施設や業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導
4. 住宅・建築物の省エネ性能等の向上
5. ゼロカーボン・ドライブ（再エネ×EV/PHEV/FCV）
6. 資源循環の高度化を通じた循環経済への移行
7. コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり
8. 食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立

出典：環境省 脱炭素ポータル　カーボンニュートラルとは

●社会資本整備と脱炭素化

国土交通省は「国土交通グリーンチャレンジ」として、重点的に取り組むべき 6 つのプロジェクトを掲げています。そのうちの１つを以下に紹介します。



出典：国土交通省　国土交通グリーンチャレンジ概要

●おわりに

今回は、「カーボンニュートラル」について取り上げました。ひとりひとりの小さな努力が目標達成を導きます。省エネな暮らしを心がけましょう。

（発行）株式会社 昭和土木設計　(岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4丁目1番23号 Tel 019-638-6834 Fax 019-638-6389)
弊社は道路・河川・橋梁等の計画・設計、BIM/CIM、i-Construction、GIS、IT ソリューション等の業務を行っております。
”なんでもインフォ“のバックナンバーは https://showacd.co.jp/ をご覧ください。